

流候事、前代未聞之由、右川通りより注進有之候、

一此間打續日照にて有之候所、俄に八日泥水三四尺相増し、右之通利根川流失有之候故歟、鯉ど  
じよう鱧の類浮上り、河岸へ寄、千計り手取に相成候由、

一上州利根川邊所により石砂大木も押埋、歩行渡りに相成申候、

一奎之橋御關所流失之由

七月

下野國  
那須山

〔神明鏡〕應永十五年正月十八日、野州那須山燒崩、同日硫黃空ヨリ降、常州那珂河硫黃、本マ五六  
年也。○中 同十七年庚寅正月二十一日、又那須山燒崩麓里打埋、人百八十餘打殺、牛馬其數ヲ知ラ

ズ、同日天鳴事夥、雷ノ聲ノ如ク、空ニハ雲、本マ大島モ鳴、勘狀ニハ天狗動ト云ヘリ、

陸奥國  
磐梯山

〔和漢三才圖會〕陸奥六十五、磐梯大山 在猪苗代湖東、大山嶮岨、嶺有炎氣、有淵蒼蒼、猛波沂起、俗謂之地獄、

〔奥羽觀蹟聞老志〕會津郡會津山 在猪苗代湖東、蒼嶺亘南北、而白雲遶山腰、積翠聳青空、是所謂磐梯山也、嶺上見焦烟、湛湖水碧、鱗壘

紋、山下有毒石、觸之者乃死、土人曰之殺人石、蓋殺生石之屬乎、

〔東遊雜記〕盤大山、高山ナリト云ドモ、飯豊山トクラブレバ大ニ低シ、山ノ頂ニ盤大權現ヲ崇ル、

麓ヨリ西道百十餘丁、夏月參詣の人多し、山ノ半ニ温泉アリ、此山硫黃ノ氣強シテ諸草木ナシ、石

色モス、フリテ悉ク赤シ、鳥獸モ住コトアタハズ、和漢三才圖會此外ノ板本ニ毒石アリト記シ

有ハ妄説ナリ、若松ヨリ五里ト云、

〔東國旅行談〕盤大山の炎

陸奥國何郡と聞しが忘たりや、筆記に書おとしたり、所は猪苗代といふ所に湖水あり、景色はな  
はだおもしろし、東に大山あり、盤大山となづく、嶮々たる高峯の嶺より、炎火たちのぼる事は烈